

議会報告会実施報告書

開催日時	平成27年 5月23日 (土)				
開催会場	帷子公民館				
班長	野呂和久				
司会者	野呂和久				
報告者	伊藤壽 ・ 富田牧子				
記録者	第1部：出口忠雄 第3部：山根一男、天羽良明、伊藤壽、川合敏己、勝野正規、出口忠雄				
参加議員	可児 慶志	亀谷 光	富田 牧子	伊藤 健二	山根 一男
	野呂 和久	天羽 良明	川合 敏己	酒井 正司	澤野 伸
	山田 喜弘	勝野 正規	出口 忠雄	伊藤 壽	
参加者数	38名				
実施内容	第1部：平成27年度予算審査について（報告・質疑応答） 第2部：議員定数・報酬について（報告） 第3部：議会・議員の活動について（意見交換）				
主な意見 提言等	<p>第1部（質疑応答）</p> <p><問> 国際交流事業で大人が行くことは説明で理解したが、小学生は該当するのか、何人が参加するのか。又、予算はどれくらいか。</p> <p><答> 今年度の予算は今後の交流について、現地レッドランド市への情報収集等の為に行く費用が計上されている（市長、教育長、担当課職員など5名）。お尋ねの件は詳細等がまだ決まっていない。</p> <p><問> マイナンバー制度は、所得や医療給付等の把握に役立ち、合理化・公平性・費用の削減などに寄与すると思う。議会としてこの制度を積極的に活用できるよう検討はされたのか。</p> <p><答> マイナンバー制度のメリット・デメリットの両面があることは理解している。しかし、議会としてのコンセンサスがまだ出来ていない。必要があれば検討していきたい。</p> <p><問> 5月のはじめに住基カードを書き換えた。マイナンバー制度が導入されると使用期間10年となっているが継続して使用できるか。</p>				

<答>

住基カードはこのまま使用できると思う。マイナンバー制度導入後は順次新制度に移行されると思う。

<要望>

財務システム整備事業経費の部分で、マイナンバー制度の導入メリットは確認作業等の手間が省けることは解るが、今までは「どういう作業に」「どれくらい費用がかかっていたのか」、それがこのシステムになると「どう手間等が省けるのか」「人員の削減効果あり」といった具体的な説明をして頂くともっと市民の理解も深まると思うので具体性を持った市民に分かりやすいように進めていって欲しい。

第3部（意見交換）

議会・議員の活動について

定数と報酬については、わかりやすくまとめられてはいるが、基本的な姿勢が読み取れない。報酬が少ないので生活ができない。そのため議員になる人がいないと読取れるが、議員は専業ではなく、兼業でやる方が市民感覚も得られて望ましい。

21年間議員報酬が据え置きとの説明は、だから上げなければいけないと読み取れるがそれはおかしい。生活できなければ別の仕事を持てばいい。

提言が議員全員の総意であるとしたら、市民感覚とは相当ずれている。

定数・報酬については、大変よくまとめられている。特に、「効用価値説」を採用したことは良い。

議員になれるかなれないか分からない中で、若い人がサラリーマンを辞めてまで議員になろうとするにはハードルが高い。お金と時間に余裕のある人しか議員になれないことになってしまう。

議会の役割はどれだけの付加価値を付けられるか、である。経費をどれだけ削減できたか予算を何割削減しました等、今の議会は付加価値が少な過ぎる。容認はいけない。

今の現状では若い人が政治に参加しにくい。職業として議員を選ぶのは怖い。

支給総額であるが、もっと貰って良い。

市長と比べて議員は常に仕事をしている。他に収入は何もないか。

金目当てではないか。魅力がない。

生活に余裕のある人しかできない。普通のサラリーマンではできない。全部自分で負

担しているから。

自分の仕事を辞めて選挙に落ちたらどうなるか。まず自分の生活がある。労組から議員を出してくれればよいが個人では無理。

議員報酬を上げたらどうか。

退職金、年金はあるか。

(答) どちらも無い。年金は廃止された。

議員定数を減らすことは反対。

(答) 減らせという意見はなかった。多様な意見を市政に反映させることは大切。

人口が減って議員定数を増やすのはおかしいが、減っていないのに減らすのはおかしい。

議員定数は妥当な人数。

議員として魅力ある活動をもっとしていくべきである。

議員報酬は安いと考える。もっと上げた方がよい。

議員は色々な審議会の報酬もあり、会社を営んでいる人もいる。それを考えれば本来の議員報酬と合わせると高いのではないか。

若い女性も政治にもっと参加できるようにしたい。

議員報酬は議員個人が何をやるかによって評価される。40万円が高いか低いかを議論するのはナンセンスだ。ましてや市の部・課長と比較するのもナンセンスである。仕事の内容・性格が違いすぎる。議員数についてはいろいろな意見を吸い上げるにはある程度の議員数は必要である。例えば地域の声を市政に届けるなど、公の仕事以外に議員としてやるべきことがあるのではないか。

(答) 昇教授の意見にもあるように科学的根拠があるわけではないので非常に難しい問題である。

議員として議会で一般質問を一度も行わないことなど問題外である。

公の仕事は当然のことである。公の仕事以外に議員としての志があるはずである。この業務も行うべきである。議員個人が何をやっているのかを市民に見えるようにすべきではないか。

政治に関し若い人たちへのきっかけづくりを考えるべきである。企業は若い人材を集めるのに大きな力を注いでいる。魅力があれば若い人も必ず来る。行政も見習うものがある。議員も素晴らしい功績が認められれば、特別報酬を出すような考えもあってよい。

議員個人が何をやっているのかが市民に分かりづらい。議員の個々の活動をもっと市民に周知すれば良い。媒体としてスマホ等を利用すればよいのではないか。

(答) 個人で議員活動を周知している方もいる。

選挙期間だけでなく、日常から議員自ら市民へ活動を見えるようにすべきである。

議員の一般質問を聞いていても、執行部に対していつまでに何をどうするのか、という言質をとるべきだ。緊張感を持った議論を期待する。

市長が積極的にやりたいという事に対して、議会はノーチェックではないのか。審議している振りをしているのではないか。

議会報告会で発言したり、質問したことがHP上で1年位で消えてしまう。

4年前の議会報告会は報告で終わりだったが、このようなグループ別で行うなど進化が見られる。

議会だよりに書かれている高齢者の安気づくり70億円について、何に使われているのか分からない。昨年と比べてどうなのかも説明がない。スペース的に詳しくかけないだろうが、詳しく知りたい人はHPなどで分かるようにして欲しい。

情報公開の観点から可児市が土地を購入した場合は公開すべきである。我々市民には一切わからない。議会の議決が必要な土地購入はわかるが、基準以下の土地購入は一切わからず不合理だ。

4月に岐阜県議会の選挙があり、7月に市議会の選挙がある。1つにまとめた方がよい。議員の反対で出来ていないと聞いたが。

(答) 議員年金の支給との関係もあり支障があったが、現在は議員年金も廃止されたので、将来的には市長選または県議選と同じとするよう市議会も検討する時期がくるかもしれない。その時は議会の解散しないといけないので色々議論がある。

議会・議員の活動以外に関する意見

市として投票率向上に努力しているのか、その取り組みは。期日前投票所を増設してはどうか。例えば病院とかに設置できないか。期日前投票所は一ヶ所あたり経費はどの程度掛かるのか。投票所が増えることは良いと思う。

(答) 公職選挙法との絡みもありますが、投票率向上に繋がる対策を知恵を出して

行かなければと思います。

選挙公報は全戸配布されていない。これは選挙に対しての取り組みが足りないと言える。

前回の選挙の時に投票に行きました。やはり、選挙広報から判断して投票するしかないのもっと情報があれば良い。

(答) 選挙広報は新聞折込で周知しているが、新聞を購読していない人もある。全戸配布は非常に難しい。

KYBスタジアムについては、維持費に年間2千万円もかかり、運動しない人にとっては殆どメリットがない。

KYBスタジアムの使用条件が厳しすぎるので緩めて欲しい。

野球場の必要性については、議会で一体どれだけ議論されたのか。どこに記録があるのか。誰が反対し、誰が賛成したのかが市民に見えるようにして欲しい。

可児市の臨時職員について、正規職員にしないのかいつも疑問に思っている。キッズクラブの職員の待遇改善を。

(答) 議会も現在不足している職員定数について是正するよう提言をしている。

駅前の子育て支援センターに関して、なぜ駅前に必要なのか分からない。人口が減っていく中であまりにもハコモノづくりに走り過ぎている。

可児駅の魅力アップをしてはどうか。電車利用者にメリットを。駅に喫茶店やコンビニ、物販店などがあると便利だ。

広見線活性化のメンバーが私たちから見ると偉い人たちばかりで市民感覚の意見が出しづらい。

市職員の対応は丁寧で感謝している。

長坂団地では子どもが生まれたらお祝い金を支給している。

定住化をどのように進めているのか。

(答) 企業誘致、子育て支援、団地の空家対策働くところ、住むところ、子育ての応援を行っている。

大垣や高山では、定住化に取り組んでいる。

(答) 可児も住みごこち一番ということで取り組んでいる。

地域の特性で言えば住宅地が増えている。

全国約2千弱の市町村で、人口が減ると市町村が減る。

大学が留まって市街へは行かない取り組みと、名古屋市にはない魅力を作る。若者は、買い物、遊ぶところがあることで選んだりする。魅力のあるまちをつくることだ。

若い人にとって魅力のあるまちとはなんなのか、国際交流事業に子ども達を参加させてあげて欲しい。

(答)前はロタ島に子どもが交流した。今年度は調査なので市長や議会などで検討が進めば子どもを積極的にレッドランド市に行かせるようになると思う。

若い方の魅力あるまちとは、グローバルな現代なので国際交流に子どもを体験させるなども市の魅力の1つではないかと思う。

全国的にも課題であるが、可児市の空き家の支援制度をもっと拡充して欲しい。バンク登録数も少ないので、PRに力を入れるべきである。

私は介護予防に努めています。可児川苑を利用していますが施設のレベルアップをして頂きたいと思う。施設の運動用機器が老朽化して使いづらい。可児川苑は交流の場としても楽しみにしています。

(答)今後の展開として介護予防に力を入れていきたい。

高齢者が増えても老人会への加入者が少ない。自分たちは、働いてないように言われるが。

(答)健友会がどうしたら増えるかという意見も頂いている。

独居老人の安否の件、私も独居。長坂団地では独居が増えている。

郡上市は水道メーターの動きを家族にメールで知らせる緊急システムを実験している。「キズキシステム」で現在8名の安否を確認している。工事費3～5万円は市の負担。通信費6千円を個人負担。長坂自治会で検討しており、可児市で採用を検討して欲しい。

(答)安否確認システムは色々あるが1つの提案として受け止めさせて頂き執行部に伝える。

可児市全体の高齢化率は26%であるが、帷子を中心に団地は30%から40%である。あと10年で若葉台は50%になると聞いている。帷子地区の高齢化対策をこの地域の議員を中心に考えるべきである。

今は地域福祉に関係したボランティア活動をしてくれる市民は前期高齢者を中心に多くて良いが、10年から15年後はそうした方々は皆、かなりの高齢者となり、ボランティア活動をしてくれる方々が減ってくる。そうしたことも踏まえて継続性のある地域福祉を考えて行くべきである。

若葉台を地域包括ケアシステムのモデル地区とした理由は。この仕組みを展開していくにあたり委員会を設置するのか。地域協議とあるが、可児市なのか帷子なのか若葉台なのか。多職種連携とあるが、職種はどういうふうを考えているのか。もし、民生委員をその中に入れているのならば、民生委員は今でも忙しいのに、これ以上忙しくなると対応出来なくなる。

(答) 若葉台を選定した理由に若葉台高齢福祉連合会として、実績があること及び可児市で一番高齢化が進んでいるという事由が考えられる。すなわち担い手が明確になっている現状を踏まえたものである。多職種連携については詳細に把握していない。民生委員が多忙であることは認識している。地域福祉協力員を手上げ方式で民生委員の補助ができるシステムを取っている。

この地域包括ケアシステムは10年後を目指しているが、それでは遅すぎる。10年経過したら帷子の団地では高齢化率が50%を超えることが想定される。モデルで成功したら 順次、地域ごとに進めるべきである。議員として市へ進言すべきである。

平成27年 5月28日

可児市議会議長 様

可児市議会報告会開催要領の規定により提出します。

議会報告会 帷子会場 班長 野呂 和久 ㊟